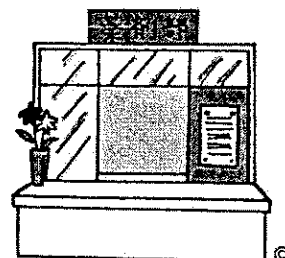


目ぐすりのおはなし

薬は症状や年齢、体質などによって種類や使い方が変わります。使う目的や、使い方を正しく理解したうえで使用することが大切です。また、薬を使用するうえでの疑問や不安は、そのままにしておかず、医師や薬剤師に相談しましょう。今回は、目ぐすりについてご案内致します。



《目ぐすりの正しい使い方》

- ① 石けんで手をよく洗いましょう。
- ② 顔をやや上向きにし、下まぶたを手で下げて視線を上向きにします。
(天井に“アッカンベー”する感じ)
- ③ 容器の先が目やまつ毛に触れないように、目ぐすりを1滴さします。
- ④ 目を軽く閉じたのち、しばらく目頭の少し下を指で押さえます。



Q：目ぐすりは何滴さすの？

A：目の中には1滴よりも少ない量しか入りません。
余分な薬液は流れ出てしまうので1回1滴で充分です。

Q：点眼後、なぜ目を閉じて目頭を押さえるの？

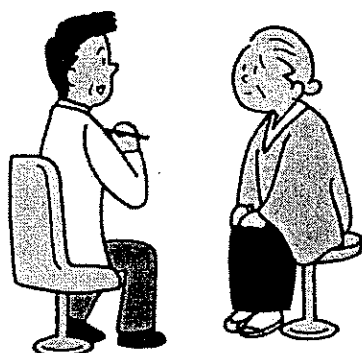
A：目に入って涙と混ざり合った薬は鼻涙管（鼻に通じる涙の出口）を通り、鼻に流れ出てしまう可能性があります。目頭を押さえることにより、薬が鼻から全身に吸収されるのを防ぐことができます。

《目ぐすりの正しい保存方法》

- ① 「冷暗所保存(冷凍室には入れない)」などの指示がある場合はそれに従い、特に注意がなくても直射日光を避け、なるべく涼しい所に保存してください。
- ② 点眼後はしっかりふたをして、袋(投薬袋など)に入れて不潔にならないように注意してください。
- ③ 容器に記載されている使用期限は開封前の期限です。
治癒後は、使用期限内であっても残った薬液は捨ててください。



注意：目ぐすりの貸し借りは、不衛生的なのでやめましょう。



§ 診療を受ける際には、

- ① 今までにかかった病気
- ② 体に合わなかった薬、副作用が起きた薬
- ③ 現在、使用している薬

等を医師に伝えることで、副作用を防いだり、薬を効果的に使うことができます。

♪「多摩南ミニ通信」をご希望の方は面会受付にお申し出ください。♪